

Monthly Repo. ならやま

徳地 恵男

2月25日(木) 活動 晴れ 80名

ならやまの梅林はほぼ満開を迎える。図録表紙デザイン決定の報告がある。協働活動で約30名がシイタケ菌打ち作業に入る。一日かけて260本を仕上げる。エコGはジャガイモの

種イモ等春野菜栽培の準備をする。景観Gはのり面の竹林整備



をほぼ終える。ビオ班はドジョウ池の補修、花班はナデシコの霜よけをとり除草をする。パトGは観察路の点検、メンテ班は展望広場の土入れをして作業を終了する。果樹Gはチップパー機を使い雑木の整理をやっと完了する。

3月4日(木) 活動 晴れ 86名

近大生 3名

近隣府県の緊急事態宣言が解除され参加者は80名を超える。朝の会の後、新しく整備された展望台に集まりお披露目がある。ならやま活動の全体を見渡すことのできる新たな場所ができ



た。午前中の協働活動では東池から流れる水路とサイクリングロード側溝をきれいにする。U

字溝は土砂で埋もれていたが、これで水の流れるようになるだろう。午後からは各グループに分かれて活動する。ビオ班では近大生によりバラタナゴの再放流が行われる。新年度の会費の集金が始まる。



3月11日(木) 活動 晴れ 82名

おだやかな春の日和、ユキヤナギ、ジンチョウゲの花が咲く。里山Gは学びの森でコナラ苗木の植樹、クヌギ苗床をつくってドングリを植える。ユート班は赤松の森を整備、エコGはたくさんのジャガイモの植え付けをし、新しい試みとしてゴボウ栽培床を仕上げる。景観Gは伐採竹を粉碎してきれいに片づける。ビオ班は水路の泥上げと補修を行う。花班は皇帝ダリア花壇を整備、ヤグルマソウを植え付ける。パトGは観察路の丸太階段を補修する。果樹Gはチップパー機で処理できなかった幹、枝の処理を行う。

3月18日(木) 活動 晴れ 82名

ならやまの桜の開花宣言。第3駐車場へ入る溝蓋が補修される。グループ毎の打合せをして一日の作業が始まる。里山Gはコナラを玉切りにして薪づく



り、エコGは春野菜の種を蒔き、寒冷紗で覆う。水やりのために東池からポンプで水揚げをする。果樹Gは実りの森の排水路の掘削、鹿侵入防止のネットの補修を行う。放置されていたドラム缶などの鉄くず、農業用の廃品などが一気に片づけられ、アダプト事業で周辺ゴミを収集してきれいなベースキャンプに甦る。